

令和4年度第3回岐阜県事業評価監視委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年8月22日（月）13：30～14：45

2. 場所：岐阜県水産会館 中会議室（オンライン併用開催）

3. 出席委員	岐阜大学 教授 工学部	篠田 成郎	委員長
	岐阜大学 教授 工学部附属インフラマネジメント技術研究センター	沢田 和秀	副委員長
	岐阜工業高等専門学校 准教授 環境都市工学科	水野 剛規	
	岐阜大学 教授 社会システム経営学環	三井 栄	
	岐阜県弁護士会 弁護士	池田 紀子	
	岐阜商工会議所 副会頭	井手口 哲朗	
	岐阜県森林組合連合会 常務理事	神原 和義	
	岐阜県商工会女性部連合会 副会長	末松 みどり	
	岐阜県農業協同組合中央会 専務理事	渡邊 健彦	
	公募 団体職員	波能 寿子	

4. 議事要旨署名委員の指名

委員長が議事要旨署名委員に井手口委員、末松委員、波能委員を指名。

5. 議事

(1) 再評価実施箇所の説明及び審議について[事業主体 岐阜県]

- 1) 道路改築事業「一般県道 本庄揖斐川線 福島～長良工区」
- 2) 道路改築事業「一般国道 257号 川上Ⅱ期バイパス」
- 3) 道路改築事業「主要地方道 岐阜美濃線 極楽寺工区」
- 4) 道路改築事業「主要地方道 神岡河合線 太江杉崎工区」
- 5) 道路改築事業「主要地方道 岐阜巣南大野線 重里～森工区」

6. 議事要旨

(1) 再評価実施箇所の説明及び審議について

1) 道路改築事業 [事業主体 岐阜県]

「一般県道 本庄揖斐川線 福島～長良工区」

説明者：道路建設課 青木課長

【審 議】

井手口委員	費用対効果分析について、前回に比べ費用が増加している理由を説明願います。
説明者	社会的割引率4%を用いて事業費を現在価値に換算しており、基準年が前回の平成29年から令和4年に変更になったため、事業費が割り増されています。
井手口委員	費用対効果の費用について、「事業期間が短縮されたことによる影響」と記載がありますが、このことについて説明願います。
説明者	費用対効果に影響する大きな要因の一つであり、便益が増加している要因の一つです。
井手口委員	事業が順調に進捗したため、費用対効果の減少がこの程度で抑えられていると理解していいか。
説明者	はい。

【審議結果】事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

2) 道路改築事業 [事業主体 岐阜県]

「一般国道 257号 川上Ⅱ期バイパス」

説明者：道路建設課 青木課長

【審 議】

篠田委員長	自然環境への配慮について、希少猛禽類であるクマタカに配慮した具体例を説明して下さい。
説明者	トンネルの発破音で営巣中のクマタカを驚かせないように、防音扉を設置しています。
沢田副委員長	当事業区間は事業により改良されるのですが、前後区間については改良済みとなっているのでしょうか。
説明者	清見方面については、せせらぎ街道まで改良済みです。下呂方面については、一部に幅員の狭い箇所がありますので、今後、改良する予定です。
沢田副委員長	第二次緊急輸送道路であり、また、国道41号の代替路という位置づけでありますので、全区間について、通行の安全確保をお願いします。

【審議結果】事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

3) 道路改築事業 [事業主体 岐阜県]

「主要地方道 岐阜美濃線 極楽寺工区」

説明者：道路建設課 青木課長

【審 議】

神原委員	他路線と比べ事業期間が長いのは何故でしょうか。
説明者	用地買収に関して、一部用地の移転先が、現在、土地区画整備事業を実施している土地となっています。土地区画整備事業の進捗を考慮すると、令和9年度以降にしか施設移転が行えず、事業期間が長期化しています。
水野委員	費用対効果分析について、前回評価時から走行時間短縮便益が大きく減少している理由は何でしょうか。
説明者	マニュアルの改訂と事業期間の延期による影響が大きいですと考えます。
沢田副委員長	説明資料からは、慢性的な渋滞の原因がこの事業により取り除かれるとは思えなかったのですが、再度その説明をして頂きたい。
説明者	渋滞の一番の原因は交通容量をオーバーしていることであるため、4車線化することにより交通容量が大きくなり、渋滞緩和が図られます。
沢田副委員長	ということは、今回の改良区間の沿道からの交通流入が比較的多いという理解でよいか。
説明者	はい。
篠田委員長	自然環境への配慮について、透水性舗装の効果として地下水を涵養する効果が挙げられていますが、むしろ、雨水の直接流出を抑制する効果により洪水リスクが低減することを挙げた方がより説得力がある、と考えますが、いかがでしょうか。
説明者	地下水の涵養効果も一般に言われることですが、ご指摘のあった、雨水の直接流出が抑制されることについても、今後効果があることが説明できるかどうかを検討していきたい。

【審議結果】事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

4) 道路改築事業 [事業主体 岐阜県]

「主要地方道 神岡河合線 太江杉崎工区」

説明者：道路建設課 青木課長

【審 議】

池田委員	用地の進捗率が99%ということですが、残り1%は、何か大きな問題が残っているのではない、ということでしょうか。
説明者	はい、特に大きな問題があるわけではありません。
篠田委員長	国道41号の通行止め実績について説明がありましたが、その際は毎回、主要地方道神岡河合線が代替路として利用された、ということでしょうか。
説明者	はい。

【審議結果】事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

5) 道路改築事業 [事業主体 岐阜県]

「主要地方道 岐阜県南大野線 重里～森工区」

説明者：道路建設課 青木課長

【審 議】

篠田委員長	費用対効果分析について、マニュアル改訂等によりB/C値が前回より低下している、と他路線で説明がありました。当路線でも前回よりB/C値が低下していますが、低下の幅が比較的小さいようです。何か理由があるのでしょうか。
説明者	マニュアルでは車種毎に便益を算出するよう規定されていますが、路線毎に商用車や自家用車の通行割合が違います。当路線では比較的自家用車の割合が高く、そのことが影響しています。

【審議結果】 事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

(以上)